胎内市

Tainai City Assembly

議会だより

平成22年
12月15日
No.24

11月7日　胎内いいもんまつり

第3回定例会　平成22年（10月13日～11月2日）　2～3ページ

一般質問　7議員　市政を問う　4～7ページ

3常任委員会審査内容　7～8ページ

21年度決算審査　9～13ページ

平成22年 第3回 定例会 主な議案

10月13日～11月2日

本定例会では、補正予算8件、条例関係5件、認定16件、同意1件、発議2件が上程され、すべて可決された。

一般会計補正予算

「予算の総額に歳入歳出それぞれ、6億8，064万円を追加し、総額を155億5，305万円とする」

主な内容

・議会費

中国黒竜江省綏化（すいか）市などへ友好都市提携に向けた訪問旅費（182万1千円）

・総務費

婚活事業「にいがた出会いサポート事業」（136万円）

庁舎施設耐震診断委託料（1，229万6千円）

・民生費

ひだまり保育園の子育て支援室の床暖房設置補助（303万3千円）

・衛生費

季節性インフルエンザ予防接種委託料（674万8千円）

・労働費

緊急雇用対策事業（485万8千円）

・農林水産業費

園芸生産拡大事業（773万9千円）

・商工費

観光案内・交流センター・スキー場繰出金など（1，499万9千円）

・土木費

市道飯角線・築地東2号線・長橋高坂沢線（1，400万円）

・教育費

各小学校施設整備（940万円）

中条小学校耐震改修（1，750万円）

公民館・図書館・中条体育館・黒川体育館耐震補強設計委託料（3，519万8千円）

その他の補正予算

・国民健康保険事業特別会計
・老人保健事業特別会計
・後期高齢者医療特別会計
・介護保険事業特別会計
・簡易水道事業特別会計
・観光事業特別会計
・地域産業振興事業特別会計

条例の一部改正

・柴橋・本条地区小学校総合審議会条例を廃止する条例。（所期の目的を達成した）

・デイサービスセンター条例の一部を改正（栗木野荘・いわはら荘の年末開館日を増やすため）

・淡水魚養殖施設条例の一部を改正（フィッシングパークの魚の供給元を変更）

・公共下水道事業条例の一部を改正（経営の基本変更に伴う）

・消防団条例の一部を改正（消防組織法の改正で条項の整理）

同意

・教育委員会委員の任命（長野彰夫氏任期満了にて皆川ますみ氏選任）

認定

・平成21年度歳入歳出決算
「一般会計」
「特別会計」
・国民健康保険事業
・老人保健事業
・後期高齢者医療
・介護保険事業
・農業集落排水事業
・特定環境保全公共下水道事業
・公共用地先行取得事業
・黒川診療所運営事業
・観光事業
・地域産業振興事業
・簡易水道事業
・鹿ノ俣発電所運営事業
「企業会計」
・公共下水道事業
・水道事業
・工業用水事業

発議

・私立高校生が学費を心配せず学べるように、学費軽減制度抜本的拡充など私学助成の増額・拡充を求める意見書（国・県へ提出）

市政報告 要旨

中国黒竜江省綏化市及び浙江省桐郷市との友好都市提携に向けた取り組みについて

4月綏化市から訪問団を迎えた。その際綏化市への訪問要請があった。

同じく桐郷市関係者とは、大阪市にて協議を行った。

6月新潟市に中国総領事館が開設。7月王華総領事に両市との友好都市提携について「全面的協力」を得た。文化、教育を始め様々な分野での交流を図りたい。

今年度中に友好都市提携を締結すべく、まず綏化市を訪問したい。

教育関連施設の耐震化について

中条小学校、中条中学校、築地中学校については耐震化工事に着手している。

黒川小学校、鼓岡小学校、大長谷小学校、黒川中学校については、今年度中に実施設計を作成する。平成24年度末には全ての小・中学校の耐震化を完了したい。

図書館・中央公民館・中条体育館・黒川体育館についても耐震化工事が必要であり、今年度中には実施時期を示したい。

中条中学校

中条小学校

「戸別所得補償モデル対策」の現状について

「米戸別所得補償モデル事業」については、「米」の需給調整に参加する販売農家に対して補償するもので、10ａ当たり全国一律1万5千円を交付する定額部分と本年の販売価格が過去3年間の販売価格の平均を下回った場合に、減収補てんする変動部分で構成されている。

また「水田利活用自給力向上事業」については、麦、大豆、米粉用米、飼料用米等の自給力向上に資する戦略作物を生産する農家に対し、主食用米と同等の所得水準を確保するために支援を行うもの。

国からの情報を随時提供し、農家の方々が安心して農業を続けられる様支援をして行きたい。

大塚地区の「城の山古墳」、通称「ひと籠山」について

4世紀前半の古墳時代前期の円墳であり、日本海側では最大の貴重なものであることが判明した。

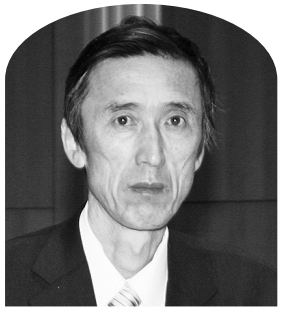
古墳発掘の専門家による「発掘指導委員会」を立ち上げ、慎重に調査を進めている。大塚地内の「籠ホロキ山古墳」や、塩津地内の「天野遺跡」との関連を考えると、極めて歴史的価値の高いものである。

国指定史跡を目指し整備計画を策定していきたい。

城の山古墳

風力発電施設建設計画の進捗状況について

平成24年4月からの本格稼働を目指し、去る9月17日起工式が執り行われた。現在は、村松浜地内の施設建設に着工、順次中村浜及び笹口浜と建設を進め、合計10基風力発電施設群が建設される予定。



松浦富士夫議員

猛暑による農業所得減少への政策は

議員　夏の猛暑により、米を始めとする農業生産物の不作に伴い減収となったが、市への影響と農業者への支援など、対策の考えは。

市長　異常気象による1等米比率の低下、収量の減少で例年以上に、農家の経営に深刻な問題となっていると認識している。農家が融資を希望する場合、農業者の利子負担を本年度ゼロになる支援を行う緊急特別融資を、両JAと共同で実施している。

議員　農商工連携事業の取り組み状況と、今後の方向性は。

市長　2月に農商工連携プロジェクト協議会を設立し、協議会の方向性を検討する幹事会を6月に設置した。今後は、11月7日の胎内いいもんまつりで、新しい米粉料理を販売し、ご意見、ご感想をいただき、評価結果をもとに、新商品開発などを推進していく。

市民みこしについて

議員　23年8月に完成を予定していたみこしが、予定より1年も早く完成したのは。

市長　市民みこしの会から、22年が合併5周年に当たること及び地域の活性化、市民主体のまちづくりなどを十分考えたうえで、製作業者と協議し、黒川、中条両祭りに間に合わせたと伺っている。

議員　現在みこしは、産業文化会館にあるが、いつまで置いておくのか。

総合政策課長　今後使わない時、産業文化会館に置き、市民の皆様に見ていただきたい。

防災行政無線について

議員　福島県を震源とする地震後、防災行政無線で大地震発生の恐れがあると流れ、市民の中に不安などを持った方がいたが、流した根拠は。

市長　緊急地震速報が全国瞬時警報システムから発信され、防災行政無線が自動起動し、放送されたもの。

薄田　智議員

高齢者が安心して暮らせる胎内市に

議員　高齢者緊急通報システムの設置状況と運用実績は。

市長　65歳以上の要支援または障がい者世帯の中で76世帯に設置、現在まで29件の通報、5件の緊急搬送があった。

議員　設置数は高齢者650世帯の12%に過ぎない、半数程度までに拡大できないか。

健康福祉課長　基準があり、簡単に増やせないが、今後は、地域包括支援センターや民間の相談機関と連携し、対応していきたい。

議員　高齢者世帯に対し、市として自治会活動をどうサポートするのか。

市長　自治会活動の清掃や道普請（みちぶしん）、回覧物の配布などの作業があり、大変苦慮している地域もあると聞いている。市としてシルバー人材センターの派遣や軽度生活支援サービス事業があり、利用いただきたい。

議員　高齢者世帯から市の除雪に対する不安や改善の要望が強いが。

市長　一定基準の世帯を対象に市と社会福祉協議会では除雪支援を行っている。今年度から有償除雪ボランティアを派遣するなど、高齢者世帯が安心して暮らせる支援を実施。

活力と元気が出るまちづくりについて

議員　若者の定住促進を行う市独自の活性化策を創るべきでは。

市長　重要な課題だと認識している。今後も、子育て支援、企業誘致等を推進して行きたい。

議員　今後の地域主権対応について自治基本条例を準備しているのか。

市長　まちづくりの基本理念を定めた自治基本条例の必要について今後検討したい。

その他の質問

・観光事業の活用について

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

森田幸衛議員

何故？苔の実区域だけ未整備なのか

議員　附回川の改修について、苔の実区域の約９００ｍが、まだ未整備になっているが、地域住民にとって大切な生活道路であり、市道認定もされているのに何故、改修されないのか。安心安全の観点から、早急に改修工事に着手すべきと思うが。

市長　附回川の改修工事は県営事業として、圃場整備事業と同時に搭載されていた。旧中条町と土地改良区が幾度も説明を行ったが、苔の実集落が圃場整備事業はしない判断をした為、未整備である。今後は市の単独整備になるので、財政状況を見定め計画的に整備を図りたい。

農業政策について

議員　記録的な猛暑の影響で、22年産米は1等米比率の低下、収量の減少が発生し、米価の下落を含め米農家にとってトリプルパンチである。津南町のような「緊急特別融資制度」に取り組むべきでは。

市長　農家が融資を希望する場合、1年目の利子負担がゼロになるよう支援を行うべく中条町・黒川村両ＪＡと共同で進めており、その予算を議会最終日に追加で提案する。

議員　胎内市における米粉用米の作付に関する面積要件は、他市町村には無いし、国も定めていない。経営面積が1.5ha未満の農家が「米粉のまち・胎内」に居ながら、10ａ当たり8万円の交付金の恩恵を原則として受けられないのは不公平である。現在の50ａ面積要件は「緩和」または「廃止」すべきと思うが。

市長　今後は、胎内市水田農業推進協議会主体の要件設定ではなく、新潟製粉㈱と中条町・黒川村両ＪＡとの協議の中で要件づくりを進めていくことが望ましいと考えている。

その他の質問

・下水道接続推進について
・保育料について

高橋政実議員

市長は財政全体をどう見てるか

議員　実質公債費比率の単年度上昇理由と適正化年度は。そのうえで新市建設計画への影響は。

市長　市税の大幅減収・一方地方交付税・臨時財政対策債増額と依存財源の割合が高くなっており、財政全体として硬直化しており改善が急務であると考えている。

　実質公債費比率が前年比0.3ポイント上昇した原因は、公営企業会計への繰出金のうち、下水道事業の地方債償還の財源に充てられた繰出金が増加したものであり、実質公債費比率の18％未満目標は平成26年度決算時と計画している。

　又、新市建設計画搭載事業については、国で議論されている一括交付金の活用など新たな財源を見出さなければならず、起債の借入額については将来的な負担増による実質公債費比率への影響を考慮に入れて事業執行手法を検討していく。

臭気問題について

議員　測定データの評価をどう見てるか、モニターの活動状況は。乙地区へのモニター配置の考えは。

市長　全体的に改善傾向と評価しているが、完全に規制値をクリアされてるわけではなく、さらなる改善に向け働きかけを行っていく。モニターの方には、毎日の記録を半月毎に提出していただき、事業者側も情報提供として参考にしている意向もあり、貢献していると感謝している。乙地区についてはしばし動静を注視していきたい。

その他の質問

・経常収支比率から見る臨時財政対策債増加傾向と財政体質改善方法について。

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

丸山孝博 議員

保育施設・学校にクーラーの設置を

議員　この夏は連日、猛暑日や熱帯夜が続く異常気象であったが、市内の保育施設、幼稚園、小中学校のクーラー設置状況と今後の計画はどうか。

市長　保育園9園のうち4園では全保育室に設置している。残りの5園については3歳児未満児室ではすべて設置している。今後の整備計画としては、来年度以降整備をしていく。

教育長　小中学校、幼稚園で、普通教室の設置は1室のみで、今後は、大規模改修時に合わせて検討したい。

議員　国の補助事業も活用し、整備すべきでは。

教育長　計画的に整備していくほうが望ましいと考えている。

市長　教育委員会とも相談して、前向きな考えで進めたい。

猛暑による米・葉タバコの影響は

議員　米価の暴落、異常気象によるコメ・葉タバコの影響はどうか。

市長　コメの1等米比率は中条町農協管内で、18・4％、黒川村農協管内で、27・7％である。葉タバコは、前年比14％の減収が見込まれる。

議員　緊急融資に対して、1年間の利子補給をおこなうことにしたが、延長すべきでは。

農林水産課長　年数のかかる返済期間はどうかと考え、単年度にした。

国保税・子供への課税は廃止を

議員　国保税の均等割は、1人当たりの税額が、医療・支援金分で年間3万4百円だが、子供が生まれるとすぐに課税される。これは、社会保険等にはない。廃止または減免すべきでは。

市長　軽減制度をおこなっており、今後もきめ細かく相談に応じる。

議員　子供が国保に加入している世帯は全体の1割強。社会保険加入世帯との関係で、子育て支援として考えるべきでは。

市長　少し検討したい。

新治ひで子 議員

産前産後の母親ケアは

議員　出産直後の赤ちゃんの世話は大変。特に核家族においては、夫婦だけで子育てをして行かなければならない。「産後うつ」は出産後2週間～6ヶ月の母親に発症する事が多い。見過ごされやすく、母親自身が気づかないまま症状が悪化し、児童虐待につながるケースも少なくない。「産後うつ」に関する知識の啓発活動や訪問事業、相談窓口体勢の充実を推進し、安心して子どもを生み育てられる環境を構築すべき。

①「産後うつ」への対策は。

②出産を間近に控えた妊娠中の方々のために「マタニティーサロン」を開催して、不安解消や互いの交流の場を提供する考えは。

市長　①市では産後1ヶ月までに助産婦の訪問を、さらに2ヶ月から3ヶ月頃に保健師の訪問を実施。質問票を使って専門医師と連携しながら早期発見に努めている。母子保健事業を通じて、早期発見と支援に努める。

②妊娠前期と後期にパパママ学級を実施。夫婦で協力し合う子育ての意識づけ、子育て支援センターの紹介、仲間づくりを意識したプログラムとなるよう工夫している。

産業道路の排水対策は

議員　消雪パイプが敷設された後、冬場の雪融け水が大きな水溜りを作るため、歩行者や自転車で走る人が水はねに困っている。歩く人、自転車を利用する人への環境整備も大切だ。産業道路の線路側に排水溝を整備するなど、排水改善に取り組めないか。

市長　産業道路で水が多くたまる所は、早急に処理したい。排水溝の改良整備と合わせ、ＪＲ東日本と協議し、計画的に整備を図りたい。

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

渡辺　俊 議員

黒川地区小学校の統合は

議員　三小（大長谷小、鼓岡小、黒川小）の学校統合については、総じて統合の気運が高まってきていると思われるが、今後の対応は。

市長　地域や保護者の方々のご意見を最大限尊重し、黒川地区地域審議会からの要望である教育環境について審議する検討委員会を設置し、黒川地区全体としての意見集約を行い三小学校の統合を含めた教育環境の課題を解決するよう進めていく。

胎内リゾート改革は

議員　胎内リゾート施設は、今年の4月に㈱胎内リゾートに運営が移行されたが、ホテル運営など新会社の事業計画等の進捗状況は。

市長　ホテル運営は、開業10周年プランや日帰り温泉プランの販売が好調で、宿泊者数は増加、客室稼働率も向上している。

　奥胎内ヒュッテは、売上の増加と人件費の削減で収支状況が大幅に改善されているし、そば処みゆき庵、フィッシングパークも人件費、固定費等の削減により収支状況は改善されてきている。

市政運営と市の将来像は

議員　政権交代から1年経ったが、市政運営に影響があったか。またこれまでの5年間の総括と5年後（合併から10年後）の市の将来像は。

市長　政権交代では、補助金の削減が多少影響した。

　総括では、防災行政無線の完備と胎内小学校の開校が大きな成果であり、企業誘致、ワイナリー建設、胎内リゾート再生、デマンドタクシーの導入等と実施し順調に行政運営ができた。

　今後の将来像としては、ＪＲ中条駅の西口整備等の新市建設計画搭載事業を実施し、地域住民の生活の質の向上と地域経済、社会の活性化を図っていく。

常任委員会審査

総務文教常任委員会

柴橋・本条地区小学校統合審議会条例を廃止

「柴橋小学校と本条小学校の統合及び胎内小学校の教育環境整備に関して、審議いただくために設置していた、柴橋・本条地区小学校統合審議会を、所期の目的を達成したことにより廃止するもの」

質問　10回の審議会で、もめたことなどあったか。

答弁　通学路について西中央線を通るべきか、あかね町内を通るべきか議論があった。

質問　今現在はスムーズに行っているか。

答弁　一部、危険箇所についてガードレール設置等の要望があるので早急に手立てをしていく。

質問　道路から学校の入口までが近すぎるという意見があったが、不審者についての対策などは事前に話し合いがなされているのか。

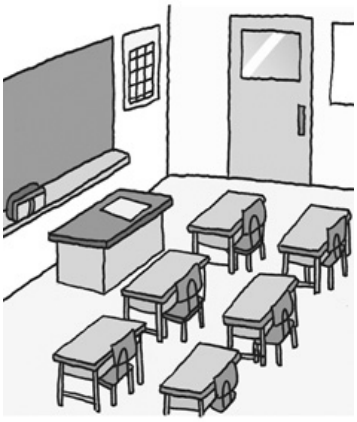
答弁　外からは自動ドアが開かない仕組みになっているし、「さすまた」を常備して指導している。

質問　廃校の跡地利用についての流れは。

答弁　審議会では出なかった。社会体育施設として利用できるところは利用して行きたいということを前々から話していたので、審議の話題にならなかったのではないか。

消防団条例の一部を改正

「消防組織法の改正に伴い、同法を引用している条項を整理するもの」



質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

厚生環境常任委員会

国民健康保険事業特別会計補正予算

「歳入歳出予算の総額から、3，241万円を減額し、総額34億507万円とするもの。

歳入では繰越金の増額が2億7，871万円で、これは平成21年度医療給付費が前年比7.3％増の見込みが4.3％増と少なくなったこと、基金積立を取り止めたこと、経営姿勢が評価され3，200万円の特別交付金をもらったこと、収納率の向上などで多くなった。

歳出では保険給付費、後期高齢者支援金、前期高齢者納付金等及び老人保健拠出金を減額し、基金積立を8，000万円とするもの」

老人保健事業特別会計補正予算

「歳入歳出予算総額に909万円を追加し、1，359万円とするもの」

後期高齢者医療特別会計補正予算

「歳入歳出予算総額に914万円を追加し、2億5，714万円とするもの」

介護保険事業特別会計補正予算

「歳入歳出予算総額に2，224万円を追加し、23億5，324万円とするもの」

簡易水道事業特別会計補正予算

「歳入歳出予算総額に4，106万円を追加し、1億9，466万円とするもの。

主な内容は、下館地内の配水管付設替え工事費を計上」

デイサービスセンター条例の改正

「栗木野荘及びいわはら荘の年末休館日を変更し、開館日を増やす」

公共下水道事業条例の改正

「計画期間を平成22年3月31日から平成29年3月31日までに、処理区域を777・8haから784haにする」

質問　汚水処理量の変更があるが。

答弁　人口減少、経済不況、電気機器の改良、水使用量の減少等で基本計画を見直した。

産業建設常任委員会

観光事業特別会計補正予算

「歳入歳出予算総額に700万円を追加し、3億4，205万円とするもの。歳出では、圧雪車の補修、人工造雪機の修理費、三浦雄一郎氏の肖像権の使用料を計上」

質問　圧雪車は何台あり、使用年数と、価格は。

答弁　3台でそれぞれ、16年、10年、4年使用、一台3，000万円。

質問　ポスター、パンフレットはどのように活用していくのか。

答弁　新潟市を中心としたリピーターを狙い、三浦さんをお願いした。

胎内スキー場

質問　今まで通り親子で楽しんでいる姿をポスターにしたほうがいいと思うが。

答弁　子どもたちをターゲットに、ちびっこゲレンデを整備した。ファミリーが流れて行かないようＰＲする。

質問　人工造雪機の現状と耐用年数について。

答弁　平成26年で償還が終わる、それまで持たせたいが故障が多い。

地域産業振興事業特別会計補正予算

「歳入歳出予算総額に374万円追加し、5億7，597万円とするもの」

質問　今年度ぶどうの収穫予想は。

答弁　約20ｔを見込んでいる。

質問　ワインの売り上げ状況は。

答弁　晩酌ワインを発売し、相当数伸びているが、利益率は低くなっている。

淡水魚養殖施設条例の改正

「宮瀬養殖施設を削る条例改正」

質問　魚の供給は間に合うのか。

答弁　専門業者より賄う。

以上、三常任委員会において、原案のとおり可決すべきと決定した。

21年度決算審査行われる

決算審査特別委員会
一般会計
10月21日

総務費

歳出

歳入の総額は、186億417万円で、予算現額に対する執行率は、91・1％で、歳出の総額は177億8，480万円で、予算現額に対する決算額の執行率は、87・0％であり、実質収支は、7億2，748万6，000円の黒字となっている。

審査の着眼点として、歳入では、予算が計上どおり確保されたか。また、そのための努力が十分なされたのか。歳出では、予算が事業等の趣旨・目的に従って適正に執行されたのか、また、行政効果がどの程度達成されているかを主眼において、審査が行われた。

質問 NI友好会館の利用状況と施設の存続について。

答弁 21年度58件、利用者数4，054人。貸館業務は21年度で休止している。NSGと協議しているが具体案は示されていない。

質問 印刷業者選定の方法と市内業者育成の考えは。

答弁 市外業者（新発田地区）も入れて、指名競争入札をしている。地域貢献度も加味した中で、今後検討したい。

質問 選挙費の負担金で、全国・北信越・県の3箇所あるが、各々の事業内容は。

答弁 義務的加入で、研修や法改正等、選挙業務が円滑に行くよう事業を行っている。

民生費

質問 生活保護の世帯数と人数及び失業で申請してきた人数は。

答弁 生活保護の世帯数は21年度95世帯、115人。離職の申請は7件であったが、1世帯が該当した。

質問 高齢者世帯に設置している緊急通報装置と火災報知器の設置数は。

答弁 緊急通報装置は76世帯、火災報知器は53世帯。

衛生費

質問 新型インフルエンザ接種費用の予算執行は、2割程度だが、執行の内容と人数は。

答弁 非課税世帯が488人、妊婦73人、乳幼児612人、小学生319人、1歳未満の保護者79人。

質問 不法投棄監視システムの成果は。

答弁 抑止力を期待している。

質問 高畑の油流出は減っているのか。原因の把握は。

答弁 徐々に減ってきている。原因はつかめなかった。

労働費

質問 緊急ふるさと雇用の委託先と雇用人数は。

答弁 新潟製粉㈱5人、㈱タイナイ1人、胎内高原ミネラルハウス2人、商工会1人。

質問 胎内ブランド商品販路拡大事業委託料の成果は。

答弁 ふるさと雇用の一環で、新潟製粉㈱、胎内高原ミネラルハウス、㈱タイナイで雇用。23年度まで継続。すぐ効果が出るものでもない。

新潟製粉㈱

㈱タイナイ

胎内高原ミネラルハウス

農林水産費

質問 胸膜肺炎で豚80頭を失ったとはどういうことなのか。

答弁 風邪が原因で治療したが、子豚が死亡した。飼育管理体制の不備と反省し、今後は、十分注意して管理する。

質問 80頭の損失額は。

答弁 ２８０万円。

質問 地元猟友会メンバーの高齢化によりハンター不足が危惧されるが、対策は。

答弁 高齢化により、免許取得の人数が減っている。市の職員による免許取得を検討したい。

質問 松くい虫防除の効果は。

答弁 効果は把握しており、区域も指示し、地上防除と伐倒くん蒸で対応。また、松くい虫に強い千年松を植栽している。

商工費

質問 消費生活相談は、月2回実施しているが、利用状況は。

答弁 県の消費生活センターは、１２７件、市の相談窓口29件（窓口16件司法書士13件）である。

質問 観光交流センターの投資効果を実証するには、早期に、特産物の販売、軽食の施設を建設すべきと思うが。

答弁 観光交流センターの脇に作りたいと考えている。

観光交流センター「たるが橋」

土木費

質問 平木田駅前は、駐車スペースも少ないし混雑しているという話を聞くが、把握しているのか。

答弁 朝晩の通学が主に込み合っている。今回、乙方面専用の左折道路を作ったのでその辺の状況も見ながら考えて行きたい。

質問 コーポカーボンデールを、将来廃止するとしているが、いつ実現するのか。

答弁 収支は悪くないが、建物の老朽化を踏まえて時期を検討したい。

教育費

質問 英語教師派遣事業の派遣先と派遣元、及び人数は。

答弁 派遣先は、全小・中学校。派遣元は学校法人太平洋で3人。

質問 委託派遣は偽装派遣、偽装請負の疑いがあるが、指導を受けているのか。

答弁 指導は受けていない。法に抵触するというのであれば労働局と協議したい。

質問 彫刻美術館は、他の施設と一緒にして成果を上げるべきでは。

答弁 主なものは大平さんの作品であり、直接管理していただけないか検討している。

胎内市彫刻美術館

歳入全般での質疑

市税

質問 市税の収納率が昨年より微増しているが、20市中、どの位置にいるのか。

答弁 20市中上から3番目。

質問 行政は農地を持てないが、所有して貸し付けている例があるのか。

答弁 土地開発基金で公共施設の代替え用地として取得したものはあるが、1件を除き売却の目処がついた。

決算審査特別委員会 特別会計

10月22日

主な質疑

国民健康保険事業

質問 繰越額が約3億1，800万円で、1人当たりに換算すると3万6，000円位になるが、その分保険料を下げることはできないか。

答弁 途中で不足しないように多めに見ている。税率は据え置き、8，000万円は基金として積み立てる。

質問 国保税は近隣と比較して高いのか安いのか。

答弁 医療分のみでは、5万4，413円で、県内で胎内市は14位、新発田市15位、村上市21位。

質問 基金繰越金がどのくらいあれば安定するのか。

答弁 現在1億2，000万円の基金がある、最低でも2億円必要。

質問 一般会計より1億6，000万円位繰入られているが。

答弁 法定分は繰入しなければならない。

質問 国保の短期証と資格証の発行件数は。

答弁 短期証124件、資格証47件。

筋トレ教室

介護保険事業

質問 介護認定を受けて施設を利用している割合は。

答弁 施設サービス利用は22・8％、居宅サービス利用は48・7％。

質問 老老介護の実態は。

答弁 夫婦で60世帯、60歳以上の子が90歳前後の親を介護10世帯。

質問 進んでいる集落では、サロン的なものを行っているようだが。

答弁 地域包括支援センターに委託してお願いしている。社会福祉協議会で3町内236人、愛広苑で17か所964人、やまぼうしで1町内82人。サロンは有効な活動である。

質問 介護予防配食サービス事業の委託先と対象者は。

答弁 中条グランドホテル、特別食はウエルネス中条。対象者数は年間で普通食8，518人、特別食838人。

質問 施設入所の待機待ち状況は。

答弁 特別養護老人ホームで135人。

質問 医療費を抑えるには予防医療と思うが。

答弁 筋力トレーニング教室、運動栄養口腔機能向上事業、スマイル体操など様々な予防事業を行っている。

黒川診療所運営事業

質問 針灸マッサージ治療は週に2回はできないのか。

答弁 先生も3人お願いしているので、調整可能か相談する。

農業集落排水事業

質問 接続率は。

答弁 58・4％。

地域産業振興事業

質問 農畜産物事業収入3，000万円の納入先は。

答弁 ロイヤルパークホテル・ビール園等で42・9％、市内販売10・8％、市外外販7.5％、ギフト9.7％、個人27・2％。

質問 ロイヤルパークホテルが第三セクターとなり、黒豚等の利用率が下がっていると聞いているが。

答弁 3～4割減っている、特に生肉、畜産品の落ち込みが大きい、その分外販を強化、ホテルも改革しており色々工夫している。さらに利用するように促している。

決算審査特別委員会
公営企業会計
10月25日

公共下水道事業

主な質疑

収入総額
6億3，922万1千円
支出総額
7億8，020万7千円
経常損失
1億4，098万5千円

質問　水洗率がなかなか上がらないことは色々な要因があると思うが、現状と今後の推進方法については。

答弁　低利の融資制度も利用しているが、高齢者世帯等には厳しいと認識している。接続率の向上に伴う料金収入が重要課題と認識しているので今後も接続推進に努めていきたい。

質問　1億4千万円の欠損金を出しているが、実質的に数字を上げるには目標を制定してやることも大事と思うが、仮に接続率を、もう10％上げるとどのくらいになると試算しているか。

答弁　接続率が10％上がると約3，300万円の料金収入が上がると試算している。10％増を来年度までに確約できないが、80％を目指して努力していく。

質問　100％になっても今の会計では黒字にならないのか。

答弁　借入利息等もあるので、今後それがなくなれば徐々に減ってバランスが取れてくると思う。

質問　いつ頃借入が無くなるか。

答弁　平成22年度も借入予定しているので、今年度の借り入れは30年後に終了する。

中条浄化センター

水道事業

収入総額
5億6，324万8千円
支出総額
4億6，519万9千円
経常利益
9，805万円

質問　去年、東本町で漏水事故があったが、危機管理体制はどうなっているのか。

答弁　水道管は目視では確認できないので漏水が起こって初めて分るもの。

質問　漏水は1年でどのくらいあるか。一目でわかるシステムはないのか。

答弁　21年度の漏水は大小合わせて25件あった。システムは今のところない。ただ石綿管は逐次交換している。年数の経っている給水管についても漏水に気をつけている。

質問　大光銀行から初めて借入れをしているが、理由は。

答弁　縁故債は市内の金融機関の見積合せで利率の安いところを採用。

質問　条件は何かあるのか。

答弁　利率、返済期間の条件を提示して見合うところにお願いした。

質問　石綿管の人体的影響と全部交換するには何年かかる。

答弁　人体的影響はないと理解している。石綿管の更新は20年度から12年間の計画でやっている。20年現在で5，455mあったものが、21年度末で進捗率25・5％、22年度は585mを予定している。

質問　残りは何mか。予定を早めて交換することは出来ないのか。

答弁　22年度の工事が終わると残り約3，480m。起債の借り入れの関係もあるので、平成31年度終了を目標にやっている。

質問　胎内市の水道料金は県内でも高いと言われているが、胎内市はどのくらいの位置にいるのか。

答弁　20年度の資料では県内で上から4番目。旧村上市は33番目、神林村が6番目、荒川町が28番目である。

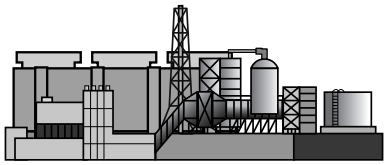
新潟中条中核工業団地

工業用水道事業

収入総額
　49万4千円
支出総額
　137万7千円
経常損失
　85万2千円

質問なし

一般会計、特別会計、企業会計、これらの質問終了後、全員異議無く認定すべきと決定した。



宮城県気仙沼市議会広報編集委員が来市

11月10日、気仙沼市議会広報編集委員5名、事務局1名が胎内市議会だよりの視察研修で来市し、議会広報の情報交換を行いました。

気仙沼市は、県北東端太平洋沿岸の三陸海岸に位置し、人口73，300人余りで、水産業、観光を主な産業とする市である。

広報は、平成18年7月に創刊され、現在第19号まで発行されている。

視察内容は、胎内市議会だよりモニターについてが主で。

●設置時期、設置目的は。

○　市へ移行時に設置し、両町村、皆様方の意見、提案などを反映するために設置した。

●選出方法はどう行っているか。

○　基本は一般公募だが、現実は編集委員が地域別にお願いしている。

●報酬はどの様にしているか。

○　一人一回1，500円（年4回）

●モニターの仕事内容は。

○　発行毎に、項目別でご意見を文章でいただいている。

などの質疑がありました。市議会だよりモニター制度は、全国でもまれで、今後、気仙沼市を始め多くの自治体に広がっていくものと思っています。

また、研修終了後、気仙沼市議会広報編集委員より、議場見学の希望があり、胎内市が、今年から取り入れた一般質問などで使用される残り時間を掲示する、パソコンモニターに興味を持ち気仙沼市議会にも取り入れる方向で色々質問がありました。胎内市の良い点を他自治体へ発信することは自慢できると思います。

短い時間の視察研修でしたが、両市にとって、今後の議会だより編集に大変意義ある交流ができました。

気仙沼市行政視察

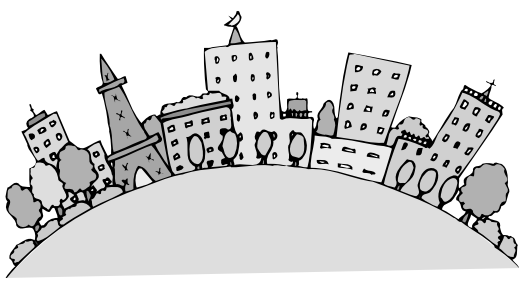
議会編集委員から市民のみなさまへ

『議会だより』に市民のみなさんの声を載せる、〝市民の意見・提言〟の欄を設けております。

ぜひ、議会や市政に対してのご意見をお寄せいただきたいと思います。

問い合せ先

胎内市議会事務局
電　話　43―6111
ＦＡＸ　44―7875
（内線1411）



◆平成22年12月15日
◆発行責任者　議長　富樫　誠
（☎（0254）43−6111　FAX（0254）44−7875）
〒959−2693
新潟県胎内市新和町2番10号
印刷／昭栄印刷株式会社

第3回定例会 傍聴記

富岡
坂上タキ江さん

10月27日、農作業の合い間に友人に誘われ、議会の傍聴に行って来ました。定数26人から18人となった初めての本会議は厳粛な雰囲気の中、始まりました。

特に国の基である農業の情勢は年々厳しく今や生き残りをかけた危機感さえあります。質問事項も農業政策についてが多くありました。又、若者の雇用の場も望まれる中、市では行政と民間参加の雇用促進協議会の立ち上げが決定したとの事。願うは、検討するだけでなく、進展のある協議会であってほしいと思います。又、さらなる子育て支援やあらゆる分野からの現状や、つっ込んだ質問、提案がなされ質問者の強い意気込みを感じました。選ばれた18人の議員の皆さんは、一致協力して頂き胎内市を盛り上げてもらいたいと思います。

私は、老眼鏡をかけて読む市報、議会だよりよりも、議会の生の声を聞いて大変わかりやすく聞いてきました。

帰宅後、我が家の賑やかな孫達の健やかな成長を見るにつけ胎内市が、よりいっそう活力と元気のある市に向かう事を改めて思った一日でした。

議会の動き

H22年

8月
- 11日　全員協議会
- 　　議会運営委員会
- 19日　第1回臨時会

9月
- 21日　議員協議会

10月
- 1日　第2回臨時会
- 　　議会運営委員会
- 　　議会報編集特別委員会
- 4日　議会運営委員会
- 7日　議会報編集特別委員会
- 13日　本会議（初日）
- 　　議会報編集特別委員会
- 15日　議会運営委員会
- 18日　総務文教常任委員会
- 19日　厚生環境常任委員会
- 20日　産業建設常任委員会
- 21・22・25日　決算審査特別委員会
- 27日　本会議（一般質問）
- 　　議会運営委員会

11月
- 2日　本会議（最終日）
- 　　議会報編集特別委員会
- 12日　厚生環境常任委員会
- 17日　企業誘致促進特別委員会
- 18日　全員協議会
- 　　産業建設常任委員会
- 19・22日　議会報編集特別委員会
- 25日　議会運営委員会
- 29日　議会報編集特別委員会
- 30日　第4回定例会（初日）

〈議会報モニターアンケートより〉

（8月号No.22号を見て）

◎第2回定例会の概要について
・分かり易い文章表現で、読んでいてよく理解できた。

◎一般質問について
・文字だけ多く羅列され過ぎていて、読み疲れる感がある。
・風力発電の質問、数人の方から質問がでていますがいよいよ本格的になってきたようですね、いいことだと思います。

◎常任委員会審査
・それぞれの項目をただのせるだけではなく、その会の総論的なものを書いたらどうか。

◎行政視察研修報告から閉会中所管事務調査について
・表敬訪問なのでそれ以外に特に目的はなかったのでしょうか。参加した議員さんの感想等も聞きたかったです。企業誘致ちょっと明るい話題でホッとしました。

◎表紙・裏表紙について
・議会のおかたい内容の中にも表紙の子ども達が浜辺で無邪気に水遊びしている様子にホッとします。大変良い表紙だと思います。
・傍聴記には同感します、議員間での共有はないのでしょうか。

貴重なご意見ありがとうございました。（編集委員）

編集後記

今年の夏は猛暑となり、熱中症や農作物に影響が出ました。近年、異常気象による災害も増えています。胎内市にとって基幹産業の農業を守る政策は取っておりますが、農業者だけでなく商工の活性化、雇用対策などにも取り組んでいかなければならないと思います。

今定例会では、21年度決算審査などもあり議会だよりもページ数が多くなると思われましたが、議員定数減もあり一般質問者が減少したことによりページ数は今までと変わりませんでした。また、皆様に「見やすく」「わかりやすく」をモットーにレイアウトを変えてみました。編集委員一同今後も頑張ってまいりますので、ご意見などお聞かせ願えればと思っております。

寒さも徐々に厳しくなり、冬の便りも聞こえてくる季節になり、インフルエンザなど体調に十分注意し来年は明るい年になるよう願っております。

（松浦）